

# 「多面的・多角的に考えること」

を重点とした道徳科の授業づくり

## 第6学年 道徳科学習指導案

1 主題名 「気高い心」(内容項目：D-22 よりよく生きる喜び)

2 教材名 「六千人の命のビザ —杉原千畝—」

(出典「小学道徳6 はばたこう明日へ」教育出版)

3 主題設定の理由

「よりよく生きる喜び」は、よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる事が大切である。最高学年となり、半年後には中学校に進学する児童たちにとって、人のために考え行動することの大切さや、それがやがて自分の成長にもつながることを理解することは重要なことである。

指導に当たっては、自分だけが弱いのではないということや、人間がもつ強さ、気高さについて自分自身を振り返ることで理解できるようにし、誇りある生き方、夢や希望など喜びのある生き方をしようとする心情を育てたい。

全国学力・学習状況調査において、本学級の児童は自己肯定感が高く、他者や社会のために行動したいという意欲が高いことが分かった。最高学年として全校児童のために働く機会を位置付けるなど学校生活の中で自他のよさを認め合う機会を確保することにより、児童は誰もが弱さに加え、人間らしいよさをもっていることを認めながら生活している。

本教材は、外交官として国の命令に背いてでも、多くの人の命を救った杉原千畝氏の葛藤を描いた内容である。リスクを背負ってでも、人々の命を救うことを選んだ杉原氏の思いについて話し合うことをとおして、よりよく生きていこうとする人間の強さや気高さを理解させたい。

また、中心的な発問では、人間として気高く生きようとする事の大切さについて、多面的・多角的に考えることができるよう、杉原千畝氏がビザを出すことを選択した気持ちを考えさせるために、外交官としての責務や杉原千畝氏の言葉「人として、人間として大事なことがある」の意味に着目して話し合わせる。

4 本時のねらい

杉原千畝がユダヤ人たちにビザを出す決断をした時の気持ちについて多面的・多角的に話し合うことをとおして、人間の強さや気高さに気付き、よりよく生きようとする道徳的心情を育てる。

5 本授業のポイント

- ① ビザを発行してほしいと依頼された時、複数の選択肢があったことに気付かせるとともに、そうした中でなぜビザを発行することを選んだのか理由を考えさせることをとおして、価値理解を深める。
- ② 授業の導入と終末において、「よりよく生きるとは何か」について考えることで、教材をとおして、今までの自分の生き方を振り返り、自らの行動や考えを見つめ直すことができるようにする。
- ③ 教科書だけではなく、資料の提示方法を工夫することで、教材への理解を深め、自我関与しやすくする。

## 6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の発言	・留意点 ■評価の観点 等
導 入	<p><b>1 事前アンケートを基に「よりよく生きる」について考える。</b></p> <p>○ よりよく生きるとは、どんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいふるまいをすること。</li> <li>・人のためになること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果を電子黒板に映し、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。</li> </ul>
展 開	<p><b>2 教材「六千人の命のビザ-杉原千畝-」を読み、話し合う。</b></p> <p>○ ビザを発行してほしいとお願いされた杉原さんには、どのような選択肢があるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が危険な目に合っても、ビザを発行する。</li> <li>・国の命令には逆らえないから、ビザは発行しない。</li> <li>・自分と家族が危険な目に合うから、発行したいけどできない。</li> </ul> <p>○ 杉原さんの立場だったら、どのような行動をするか考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の命より多くの人の命の方が大切だから、ビザを発行する。</li> <li>・外交官の仕事をしているので、職場の命令を無視することはできない。</li> <li>・家族に迷惑をかけるから、ビザは発行しない。</li> </ul> <p>◎ 杉原さんがビザを出す決断をしたのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後味が悪いから。</li> <li>・自分のせいで、たくさんの人の命が失われるのは嫌だったから。</li> <li>・仕事よりも、命の方が大切だと思ったから。</li> <li>・後悔したくないから。</li> </ul> <p>○ よりよく生きるとは、どういうことだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことよりも、人のことを考えて行動すること。</li> <li>・命令に背いてでも、自分が大切だと思ったことをやりとげること。</li> <li>・自分の気持ちに正直に生きること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杉原千畝氏に自我関与して考えられるよう、当時の社会情勢について触れる。</li> <li>・役人の責務を果たそうとする考えと、人間として尊厳を守ろうとするときの考えを黒板上にネームプレートを貼らせ分類することで、他者理解を深めさせる。</li> <li>・杉原千畝氏の葛藤を類推させることで、人間理解を深めさせる。</li> <li>・利害得失にかかわらず、ビザを出す決断をした千畝の思いを考えさせる。</li> <li>・ワークシートに記入し、意見をまとめたものをロイロノートに書き込ませる。</li> <li>■他者と対話したり、協働したりしながら、人間の強さや気高さについて、多面的・多角的に考えようとしている。</li> </ul>
終 末	<p><b>3 自分と向き合い、考えたことを交流する。</b></p> <p>○ これまでの自分の生き方やこれから目指す生き方に触れながら、学習を通して感じたことや考えたことを書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに自分の考えを書き、発表させる。</li> </ul>